

胆道癌 05

対象疾患:胆道癌

【0505】イミフィンジ+GC 療法

原則最大 8 クールまで。その後は【0506】イミフィンジ療法に切り替え。

* 体重確認 * 体重30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kgとする。

【投与スケジュール】 1コース=21日(3週)

1コース

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W	3W	4W	5W	6W
デュルバルマブ	イミフィンジ	DUR	1500mg/body	↓ Day1			↓ Day1		
シスプラチン	シスプラチン	CDDP	25 mg/m ²	↓ Day1	↓ Day8		↓ Day1	↓ Day8	
ゲムシタビン	ジェムザール	GEM	1000mg/m ²	↓ Day1	↓ Day8		↓ Day1	↓ Day8	

【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1			
内服	アプレピタント 125mg	1 カプセル	シスプラチン開始 60~90 分前
主管 ①	生理食塩液 50mL	1 本	ルート確保用
主管 ②	イミフィンジ点滴静注	1500mg/body	60 分以上かけて
	生理食塩液 100mL	1 本	
主管 ③	生理食塩液 50mL	1 本	5 分
主管 ④	生理食塩液 1000mL	1 本	持続
	硫酸 Mg 補正液 1mEq/mL	10mL	
側管 ⑤	パロノセトロン(0.75mg/5mL)	1V	30 分
	デカドロン(3.3mg/1mL)	3A	
	生理食塩液 100mL	1 本	
側管 ⑥	シスプラチン注	25mg/m ²	60 分
	生理食塩液 250mL	1 本	
側管 ⑦	ジェムザール	1000mg/m ²	30 分
	生理食塩液 100mL	1 本	
側管 ⑧	20%マンニトール 300mL	1 本	30 分

※アプレピタントは Day2-3 と Day9-10 午前中にも 1 回 80mg 内服

<イミフィンジ>
インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用すること

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day8			
内服	アプレピタント 125mg	1 カプセル	シスプラチン開始 60~90 分前
主管 ①	生理食塩液 1000mL	1 本	持続
	硫酸 Mg 補正液 1mEq/mL	10mL	
側管 ⑨	パロノセロン(0.75mg/5mL)	1V	30 分
	デカドロン(3.3mg/1mL)	3A	
	生理食塩液 100mL	1 本	
側管 ②	シスプラチン注	25mg/m ²	60 分
	生理食塩液 250mL	1 本	
側管 ③	ジェムザール	1000mg/m ²	30 分
	生理食塩液 100mL	1 本	
側管 ④	20%マンニトール 300mL	1 本	30 分

※アプレピタントは Day2-3 と Day9-10 午前中にも 1 回 80mg 内服

【催吐性リスク】

高度リスク

【組織障害性】

イミフィンジ: 不明 (非炎症性薬剤に準ずる: メーカー回答)

シスプラチン: 炎症性

ジェムザール: 炎症性

【注意事項】

(イミフェンジ)

患者選択にあたっては初回投与前チェックリストで投与の可否を判断すること

(シスプラチン)

光に対して不安定なため、直射日光を避け、点滴時間が 6 時間を超える場合は遮光して投与すること

腎毒性軽減のため、十分な量の補液が必要である。尿量や体重の変動に注意し、必要に応じ利尿剤を追加すること

(ジェムザール)

投与時間 30 分を遵守する。(60 分以上の投与時間で毒性の頻度と程度が増強したとの報告がある)